

農林水産省登録
第17025号

明日の
農業を
考える

水稲用初・中期一発処理除草剤

日農 フジクラス® 粒剤17

®は日本農薬（株）の登録商標

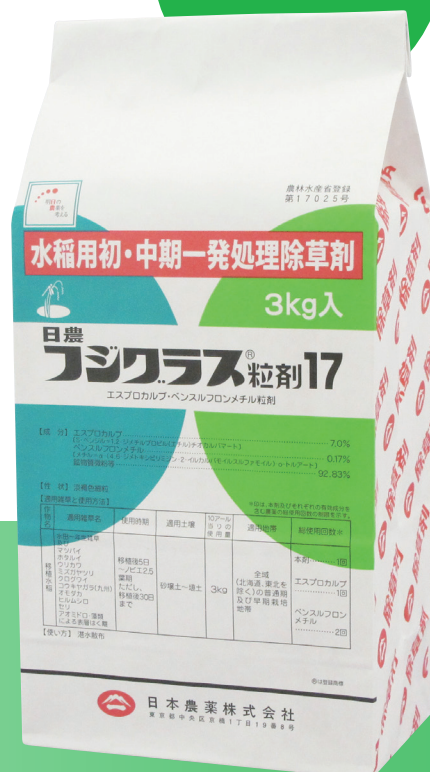
ノビエや、各種多年生雑草に
高い効果を発揮

ノビエ

クログワイ

オモダカ

3kg
/10a処理



写真はイメージです



日本農薬株式会社

特 長

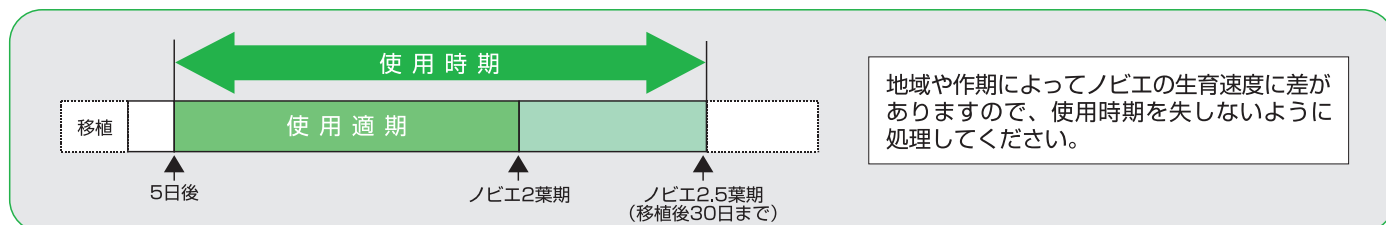
- 1 ノビエの2.5葉期まで使用可能な初・中期一発処理剤です。
- 2 ノビエ効果の高いエスプロカルブと一年生、多年生の広葉雑草およびカヤツリグサ科雑草に高い効果を示すベンスルフロンメチルを混合した2成分の除草剤です。

〈2019年1月現在の登録内容〉

適用雑草および使用方法

作物名	適用雑草名	使用時期	適用土壌	使用量	本剤の使用回数	使用方法	適用地帯	エスプロカルブを含む農業の総使用回数	ベンスルフロンメチルを含む農業の総使用回数
移植水稲	水田一年生雑草 及び マツバイ ホタルイ ウリカワ ミズガヤツリ クログワイ コウキヤガラ(九州) オモダカ ヒルムシロ セリ アオミドロ・ 藻類による表層はく離	移植後5日～ ノビエ2.5葉期 ただし、移植後 30日まで	砂壤土～ 埴土	3kg/10a	1回	湛水散布	全域(北海道、 東北を除く)の 普通期及び 早期栽培地帯	1回	2回以内

上手な使い方



使用上の注意事項

- 雑草の発生前から生育初期に有効なので、ノビエの2.5葉期までに時期を失ないように散布する。特に多年生雑草は生育段階によって効果にふれが出るので、必ず適期に散布する。
なお、散布適期はホタルイ、ウリカワ、ミズガヤツリは2葉期まで、クログワイは発生期まで、オモダカ、ヒルムシロは発生盛期まで、コウキヤガラは増殖初期まで、セリは増殖期まで、アオミドロ・藻類による表層はく離は発生始期までであるが、特にオモダカ、クログワイに対しては所定の使用時期の範囲内でなるべく遅く散布する。
- クログワイは発生期間が長く、遅い発生のもものでは十分な効果を示さないで、必要に応じて有効な後処理剤と組み合わせて使用する。
- 苗の植付が均一となるように代かきはていねいに行う。未熟有機物を施用した場合は特にていねいに行う。
- 散布に当たっては水の出入りを止めて湛水のまま田面に均一に散布し、少なくとも3～4日間は通常の湛水状態(水深3～5cm程度)を保ち、散布後7日間は落水、かけ流しをしない。
- 以下のような条件では薬害が発生する恐れがあるので使用を避ける。
①砂質土壌の水田および漏水田(減水深2cm/日以上)
②軟弱な苗を移植した水田 ③極端な浅植の水田
- 梅雨期等、散布後に多量の降雨が予想される場合は除草効果が低下することがあるので使用を避ける。
- 散布後、数日間暑しい高温が続く場合、初期生育が抑制されることがあるが、一過性のもので次第に回復し、その後の生育に対する影響は認められていない。
- いぐさ、れんこん、せり、くわいなどの生育を阻害する恐れがあるので、これら作物の生育期に隣接田で使用する場合は、十分注意する。
- 散布田の水田水を他の作物に灌水しない。
- 河川、湖沼、地下水等を汚染しないよう、落水、かけ流しはしない。
- 誤食などのないよう注意する。誤って飲み込んだ場合には吐き出させ、直ちに医師の手当を受けさせる。使用中に身体に異常を感じた場合には、直ちに医師の手当を受ける。
- 散布の際は、農業用マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用する。作業後は直ちに手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをするとともに衣服を交換する。
- 作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯する。
- かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意する。
- 水産動植物(魚類)に影響を及ぼすので、養魚田では使用しない。
- 水産動植物(甲殻類、藻類)に影響を及ぼすので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用する。
- 散布後は河川、養殖池等に流入しないよう、水管理に注意する。
- 散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さない。また、空容器、空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理する。

●使用前にはラベルをよく読んでください。 ●ラベルの記載以外には使用しないでください。 ●本剤は小児の手の届く所には置かないでください。

レイミーの農薬チャットルーム

ホームページに遊びにきてね!



日農ホームページ



日本農薬株式会社

東京都中央区京橋1丁目19番8号

カスタマーサービス TEL. 03-6361-1414

ホームページアドレス <http://www.nichino.co.jp/>

2019年1月作成版(TS) FD11901S